『周防大島町第3期子ども・子育て支援事業計画』パブリックコメントについて（回答）

〇募集期間：令和７年２月１４日（金）～令和７年３月10日（月）

〇意見提出：１７件

【パブリックコメントのご意見と町の考え方】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| № | ページ | ご意見 | 回答 |
| 1 | 4・35 | P4のほうは、“意識の醸成”という弱い表現だが、P35のほうは、“行う”と能動的に書かれている。意識の醸成はもういいので、“行う”ための仕組みづくりやけん引する姿勢を示してほしい。 | 子どもたちを地域社会全体で支え合って育んでいく意識を醸成していきながら、切れ目のない支援を社会全体・地域で行ってまいります。 |
| ２ | 34 | 放課後児童クラブ・子どもの居場所について、3行目「一部、子どもが行きたがらないことも挙げられており、詳しい理由の把握や対策、…求められています。」前回の計画にも同じことが課題として記載されている。この5年間で、詳しい理由の把握や対策を行っていれば、その取り組みを教えてください。できていなければ、その理由を教えてください。 | 放課後児童クラブの利用について、現状では家庭内で過ごす子どもの割合が多いため、子どもが安心して過ごせる居場所の一つとして放課後児童クラブの利用促進を図ってまいります。 |
| ３ | 56 | 現状と課題には特に触れられていないが、今後の方向性として、「地域住民による自主的な活動を支援」「地域における子育て支援に関する情報やサークル活動、団体活動等の情報を集約し、広報活動を強化する」とある。であれば、現状として、地域住民による自主的な活動がどのように行われているのか、それらの情報がどう拡散されていているのか、触れるべき（じゃないと、今後の方向性につなげる課題がみえない）。 | 本計画に従って施策を実施していく中で、子育てサークルや地域住民による自主的な活動に関し相談等があれば、どのような支援ができるかを検討し、町のHPや公式LINE等で情報を発信してまいります。 |
| ４ | 58 | 子育て意識の啓発の推進　現状と課題について、「町の実施する各種子育てサービスについても知らないとする回答が半数を超えるサービスも複数あり、より効果的な情報提供の仕組みを構築し、サービスの認知度向上を図ることが求められています」とあるが、アンケート調査で認知度が低いサービスについて、全ての子育て世帯の認知度を上げるべきサービスと、対象者にサービス情報が届けばいい（個別相談等でお知らせできればいい）ものもあるのでは。アンケート結果をひとくくりにここで認知度向上を図る必要ありとするのは妥当か？ | 幅広く周知し、各種サービスをたくさんの方に知っていただくことで子育て世帯だけではなく、地域全体で子育てをするという意識を高めたいと考えます。 |
| ５ | 60 | 保育サービスの充実　の現状と課題について、ここ何年も、毎年のように保育園・保育所の閉園が続いている。子ども数に対する施設の数は足りているのだろうが、通園が遠距離になりつつあるエリアもある。せめて現状として、保育所が減少していることを記載すべきでは。課題であると考えるならば、課題としても取り扱ってほしい。 | 保育サービスの充実について、少子化等に伴い保育所数の減少は現状としてありますが、私立保育所の運営経費や保育士確保の状況が厳しくなっていることが主な要因です。保育サービスを充実させるため、保育士の質の向上と適切な保育の提供体制を確保できるよう努めてまいります。 |
| ６ | 65 | 結婚・妊娠・出産期の支援　の現状と課題上から4行目「近年では若い移住者による起業もみられ、それが新たなカップルの誕生にもつながっています」とあるが、聞いたところによると、この文章は「移住・定住支援や婚活イベントの開催」にかかっているとのことだが、今の書き方では、若い移住者で起業した人がカップルになっている、と誤った捉え方をされてしまうのでは。現状として特記すべきことかどうかもあるが、書くなら「民間でも婚活支援事業を展開する事業者があり、町内での婚姻増にも寄与している」などと明確な表現とすべきでは。 | 頂いたご意見を参考に修正します。 |
| ７ | 74 | 子どもの居場所づくりの充実　現状と課題「近年、テレビゲームやインターネットなどの急速な普及などにより、日常的に家庭内だけで過ごす子どもの増加が目立っています」・これだけだと全国一般的な話であり、本町のリアルな現状としては「少子化により近所に友人がいない」ということにも触れるべきでは？ | テレビゲームやインターネットの普及で家庭内だけで過ごす子どもの増加は全国的な話でもありますが、本町の現状でもあるので、頂いたご意見については、次計画の策定において参考にさせていただきます。 |
| ８ | 74 | 子どもの居場所づくりの充実　現状と課題について・公的なこどもの居場所として「放課後児童クラブ」だけではなく、「放課後子ども教室」にも触れるべきでは？・町内には既にこども食堂を実施する団体が立ち上がり活動されている。にもかかわらず現状と課題の中で触れられないまま、具体的施策には、「こども食堂支援事業」というものが記載されている。現状として触れられていないのはなぜですか？ | 「放課後子ども教室」については、現状と課題の中で記述しております。ご意見を踏まえ「こども食堂」について追記します。 |
| ９ | 79 | 仕事と子育ての両立支援　現状と課題アンケート結果について、「女性の就労状況、就労希望が高いことがうかがえます」これは何と比較して高いと言っているのか？全国平均と比べてなのか、前回調査と比べてなのか、高いというならその根拠を示すべき。 | アンケート調査において、前回調査で就労を希望する母親の割合は39％でしたが、今回の調査では56.7％と高くなっています。頂いたご意見を踏まえ修正します。 |
| 10 | 80 | 男女共同参画意識の啓発男女雇用機会均等法施行からこれまで、ずっと意識の啓発で止まっているのでは。せめて町の意思表示として、「男女共同参画の推進」としてほしい。 | 性別に関係なく、固定的な役割分担にとらわれない社会を構築するため、今後も啓発活動を行い、色んな分野において参画、促進していきます。 |
| 11 | 80 | 同　現状と課題6行目「地域の実情に応じた施策を検討していくことが必要です」男女共同参画に関する“地域の実情”がどこにも述べられていない。“地域の実情”があるなら、現状として記載すべき。 | 頂いたご意見は、次期計画の策定において参考にさせていただきます。 |
| 12 | 82 | 子どもの人権の尊重と虐待の防止、ヤングケアラーへの支援　現状と課題「事案発生時には関連各部局の連携した対応が望まれます」「事案発生時」ではなく、起きていることを支援機関が認知した時、というのが正確だと思うので、「事案発覚時」とすべきでは。また、連携した対応が「望まれ」るのではなく、「必要」なのでは。 | 頂いたご意見は、次期計画の策定において参考にさせていただきます。 |
| 13 | 84 | 障害のある子ども・医療的ケアの必要な子どもへの支援　現状と課題4段落目、「きめ細やかな個別指導を受けられない状態にある児童・生徒も多い状態です」何と比べて多いのか？全国平均なのか、前回なのか、サポート体制に対してなのか…。多いと判断する比較対象を記載すべき | 現状として、特別支援教育を必要としている児童・生徒が通常学級の中に在籍しているケースが多い状態となっています。頂いたご意見を踏まえ文章を修正します。 |
| 14 | 87 | ひとり親家庭や生活困窮世帯への支援　現状と課題「近年、未婚での出産や離婚によるひとり親家庭が増加しています。本町の離婚率は…低くなっています」未婚での出産や離婚によるひとり親家庭が増加しているというのは全国的な傾向と思うが、ここで本町の離婚率や婚姻率の全国との比較を記載している目的がわからない。この流れで本町の婚姻率の低さをもちだすと、シングルマザーが多いと言いたいようにも捉えられる。また、本町の現状として、町外で結婚生活を送っていたが、離婚を期に本町の親元に子どもと共にUターンするひとり親家庭は少なからずいる。本町で受理する離婚届の数から算出する“離婚率”に触れたところで、そこまでをカバーできるものでもない。よって、「近年、全国的に、未婚で…」とし、本町の離婚率・婚姻率に関する文は削除することを提案する。 | 現状として、本町では離婚率・婚姻率が低いことを記述しておりましたが、頂いたご意見を踏まえ離婚率についての記述は削除いたします。 |
| 15 | 89 | 子どもに安全・安心な環境づくり　現状と課題3行目「子どもが安心して遊べる空間の維持・管理を行い」これではそのような空間が今度増えない感じを受ける。もし増やす可能性もあるのなら、「…空間の創出・維持・管理」などとし、可能性を感じさせてほしい。 | 本計画の施策を実施していく中で、増設等について検討していきます。 |
| 16 | 91 | 子どもを犯罪被害等から守る活動の推進　子どもが犯罪被害等にあわないように、とのことだが、近年、子どもが加害者になる事件を耳にすることも少なくない。特に、ネット上での犯罪やいじめに、意識せずに加担することが懸念される。ネットリテラシーについて、学校教育の中で力を入れてほしい。全般的に、未然防止の観点からの取り組みしかないように感じる。想定外で対処が遅れた、ということにならないように、“もしも被害に遭ったら”を想定した対策も事前に取っておくべきでは。 | 子どもを犯罪被害から事前に防げるよう、体制強化を図り、計画に従って施策を実施していく中で、検討していきます。 |
| 17 | 82・83 | 町として、ヤングケアラーへどのような支援をしているのか具体的に教えていただきたい。大人と違い、誰に支援を求めたら良いかわからず埋もれているケースもあるのではないかと懸念している。 | ヤングケアラーが疑われる児童生徒の中には、自分がヤングケアラーであるという自覚がない場合や家庭のことを周囲に知られたくないと思っているケースも考えられるため、各学校においても日々の観察や情報取集、生活アンケートや教育相談等で小さな異変や実態の把握等、早期発見に努めています。また、疑いのある児童生徒が見つかった場合は、町や学校、児童相談所、学校運営協議会等と連携し、面談や訪問を行いながら個々のケースに対応していきます。 |